

令和5年度東京都相談支援従事者研修検討会 活動報告

概要**【目的】**

相談支援従事者等研修（以下「研修」という。）を、円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

【年間活動方針】

- ・区市町村および拠点機関での実習対応について、地域の実情に合わせたバックアップ方法を検討する。
- ・研修に携わる人材の選出の考え方や循環の仕組みについて検討する。
- ・演習で使用している架空事例の刷新、受講者向け視聴覚教材等の補助教材の要否について検討を行う。
- ・研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築する。

【委員構成】五十音順、◎委員長、○副委員長

	氏名(敬称略)	所属
1	稲垣 藍	社会福祉法人山鳥の会 中央区立子ども発達支援センター
2	神作 彩子	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 大田区立障がい者総合サポートセンター
3	◎佐藤 繭美	法政大学現代福祉学部教授
4	芝 美樹子	社会福祉法人あだちの里 あだちの里相談支援センター
5	高江洲 幸男	社会福祉法人もくば会 八王子地域生活支援室高尾
6	蛭川 涼子	特定非営利活動法人 自立生活センターSTEP えどがわ
7	○藤田 博文	特定非営利活動法人 自立生活センター日野
8	○古橋 陽介	特定非営利活動法人 江戸川区相談支援連絡協議会 江相連相談支援センター
9	美濃口 和之	文京区障害者基幹相談支援センター
10	安井 一裕	一般社団法人しぶや糸をつむぐ会 コネクトしぶや
11	横田 勇貴	社会福祉法人ソラティオ 荒川区障害者基幹相談支援センター

【活動状況】

- ・天候不良により第2回は、Web 会議で実施

	日程	議事
第1回	5月24日	検討会年間活動方針及び計画案について
第2回	9月8日	相談支援従事者指導者養成研修（国研修）受講報告について、各研修チーム活動報告について、主任相談支援専門員の推薦について
第3回	12月19日	サービス管理責任者等指導者養成研修（国研修）受講報告について、各研修チーム活動報告について、令和6年度相談支援従事者研修について
第4回	2月26日	年間のまとめ及び引継ぎ事項の確認

【検討体制】

- ・全体を俯瞰するための課題別のチーム、検討会と研修との連動のための研修別チームに分かれて検討を進めた。

研修種別 課題別	初任者研修	現任研修	主任研修	演習指導者 養成研修	専門コース 別研修 1	専門コース 別研修 2
内容整理	蛭川・高江洲	稲垣・古橋	美濃口	稲垣・古橋	蛭川	稲垣
人材育成	芝・横田	藤田・神作	安井	芝・横田	安井	芝

課題別チーム

検討チーム名等	委員	打合せ回数※
内容整理チーム	古橋・稲垣・蛭川・高江洲・美濃口	7回
人材育成チーム	藤田・神作・芝・安井・横田	5回

研修別チーム

検討チーム名等	委員	協力者	打合せ回数※
現任研修チーム	藤田・神作	4名	7回
初任者研修チーム	蛭川・高江洲・芝・横田	6名	5回
主任研修チーム	安井・美濃口	3名	4回
専門コース別研修 1 チーム	安井・蛭川	3名	4回
専門コース別研修 2 チーム	稲垣・芝	2名	1回
演習指導者養成研修	古橋・横田・稲垣・芝		3回

※オンラインでの打合せ含む
(敬称略)

活動成果1 実習説明会の実施と実習対応についてのバックアップ方法を検討

- ・地域実習の円滑な実施に向けて、窓口となる区市町村職員に研修の目的や実習の意図を理解していただけるよう「実習受け入れガイド」を作成すると共に、説明会を実施した。
- ・説明会は、実習の対応をしていただく区市町村職員と区市町村の選定した相談支援専門員（以下「実習対応者」という。）を対象とし、研修で使用しているツールの説明や実習対応の具体的なイメージを持てるようデモンストラーションを行った。
- ・説明会に参加できなかった実習対応者が後から視聴できるよう、また、説明会に参加した場合も繰り返し復習できるよう、録画した説明会の動画をインターネット配信した。
- ・研修の実施後、実習対応者にアンケートを実施した。

活動成果2 地域の中核人材となる主任相談支援専門員の推薦についての検討と取りまとめ

- ・地域の中核人材となる主任相談支援専門員の推薦について、推薦における具体例と研修終了後に地域で担っていただきたい役割について検討し、相談支援従事者初任者研修の実習説明会資料として区市町村へ配布した。（別紙 1）
- ・研修に携わる人材が循環していくよう、主任として地域での役割を担うとともに、東京都の相談支援従事者研修にファシリテーターやスーパーバイザーとしての役割も担うことも記載した。

活動成果3 演習で使用する架空事例の刷新

- ・現在の社会状況に見合うように、本人の性格や指向、活動の内容、家族の状況について検討し、見直しを行った。また、エビデンスをベースにしたサービスの入れ方について、答えられるよう検討した。（別紙 2）
- ・新事例にあわせて初任者研修で使用するツール類やデモ動画も作成し直し、令和 5 年度の初任者研修から使用開始した。令和 6 年度の相談支援従事者研修でも、引き続き使用していく。

活動成果4	研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築する
--------------	---

- ・研修と検討会を連動して進められるよう、研修別、課題別に検討体制を構築して年間の活動を進めた。
- ・研修別、課題別、それぞれのチームがクロスするような配置にすることで、効果的に進めることができた。
- ・人材の循環や委員への過度な負担を軽減するため、研修別チームには元検討委員や各研修の演習指導者に協力者として参加していただいたことで、新旧メンバーの交流から次世代の育成へとつながった。
- ・一方で、双方の活動に参加することで、活動量が増え負担感が増すことが懸念点としてあがっている。

活動成果5	その他
--------------	------------

- ・厚生労働省主催の相談支援従事者指導者養成研修会（6月及び3月）及びサービス管理責任者等指導者養成研修専門コース別研修部分（9月）に参加し、得た情報を第2回、第3回検討会で共有した。

来年度に向けて

【引継ぎ事項1 実習対応者（区市町村及び拠点機関）のバックアップ】

- ・初任者研修及び現任研修の実習対応者を対象に、引き続き、説明会の実施および事後の動画の配信、アンケートを実施していく。アンケートを実施する際は自治体と拠点機関で自治体としての回答を情報共有できるように働きかけをする。
- ・区市町村、拠点機関の担う役割がより分かりやすくなるよう、好事例を紹介する、具体的な説明内容を伝える等の工夫をしていく。
- ・説明会に参加のない区市町村について、状況の確認や個別の働きかけをしていく。
- ・地域実習のデモンストレーション動画について、理解の乏しい受講者を想定した動画を新規に作成し、初任者研修より活用できるようにする。

【引継ぎ事項2 研修補助教材の必要性の検討】

- ・今年度、補助教材がどのような場面で、誰に必要とされるかについて検討し、まずは受講者をサポートする立場にあるファシリテーターが研修の内容について理解を深めることから始められると良いのではないかと確認した。
- ・次年度は演習指導者養成研修の受講者やファシリテーターが活用できるよう動画を配信し、効果を検証していく。

【引継ぎ事項3 私たちが目指す相談支援専門員の姿の更新】

- ・「相談支援専門員を知らない人にもわかりやすく相談支援専門員の役割を伝える部分」の内容について検討したが、行政職員等に理解していただける資料となるよう引き続き内容を精査していく。
- ・令和7年度の研修より使用できるよう、検討会および検討会内容整理チームOBに意見を伺いながらまとめる。

別紙 1

令和 5 年度東京都相談支援従事者研修検討会

主任相談支援専門員の推薦について

東京都では、主任相談支援専門員の養成研修を毎年行っておりますが、研修受講には区市町村からの推薦が必須となっております。受講者を推薦いただく際には官民協働（行政と地域との話し合いの上）で推薦をお願いしているところではありますが、区市町村からはどのような方を推薦していいのか分からない等の声をいただいております。

そのような中で各区市町村が受講者の推薦をしていただく際の参考として具体例をお示ししたいと思います。また、研修修了後には各地域において以下に示す中心的役割を担っていただきたいと考えていますので、そのことも踏まえて推薦をお願いいたします。

お示したものはあくまで具体例ですので、すべてに当てはまる必要はありません。推薦をされる際の参考にしていただきたいと思います。

【推薦における具体例】

指定相談支援事業所、基幹相談支援センター等で相談支援専門員として一定年数以上の勤務経験があり、以下の取り組みに複数関与している

- ・ 日頃から地域課題を意識した相談支援を実践している
- ・ 地域の中で“相談支援”に関する研修等の講師として参画している
- ・ 協議会等に委員として推薦されて参画している
- ・ 都主催の法定研修（初任者研修、現任研修、主任研修等）に演習講師として参画している
- ・ 都主催の法定研修のインターバル期間に拠点機関として実習の対応をしている

【研修修了後の役割】

- ・ 区市町村における相談支援に関わる人材育成の体制整備を行政と協働して進める
- ・ 指定相談支援事業の資質向上のための研修企画、立案、実施
- ・ 障害福祉計画・障害児福祉計画の立案への協力
- ・ 地域の中で“相談支援”に関する研修等の講師として参画
- ・ 都主催の法定研修（初任者研修、現任研修等）に演習講師として協力
- ・ 法定研修（初任者研修、現任研修）のスーパーバイザーとして実習協力

※今後の国の動向や社会情勢に合わせて修正・変更の可能性あります

基本情報

A さん () 歳代 男・女 B 市

見た目・性格

- ・身長 160 cm、体重 60 kg
- ・髪型はツーブロックで短髪、清潔感あり
- ・ファッションはアウトドア系
- ・穏やかで人当たりがいい
- ・頑固、考えは変えない
- ・家族への遠慮

できること (ADL・IADL など)

- ・全介助
- ・電動車いす操作 OK、振動で緊張
- ・スマホ、タブレット操作 OK
- ・会話 OK ⇄ 込み入った内容を理解したり判断することは難しい。制度の理解、金銭管理は難しい。

好きなこと (興味・関心など)

- ・ボッチャ
- ・仕事、宛名貼り・封入＝はくたか
- ・スマホ・タブレット (YouTube・ゲーム・アニメ)

苦手なこと・嫌いなこと

- ・強く自己主張すること

障害・疾病 (障害者手帳など)

- ・脳性マヒ、てんかん (薬で安定)
- ・障害支援区分 6
- ・身体障害者手帳 1 種 1 級 愛の手帳 3 度

住まい・環境・経済状況

持家、経済的問題なし

収入：18 万円程度

[各種手当]

障害基礎年金 1 級、心身障害者福祉手当
重度心身障害者手当、特別障害者手当

本人の思い

- ・家族に迷惑をかけているという思いがある
- ・就 B 型 20 歳＝大人 働いて人の役に立つ
- ・地元で先輩のようにひとり暮らし、入所施設や GH は入りたくない。
- ・仕事をしてボッチャの用具 (ボール、ランプ) を買いたい。

家族の思い

- ・(父) できる限りのことはしたいが体力が…
- ・(母) 祖母の介護もあり夫に頼っていたが夫の体力的に心配

障害福祉サービス

- ・重訪 2 回/W (カラオケ・映画・買物)

週間予定

	月	火	水	木	金	土	日
6 時							たにがわ
12 時		重訪		重訪			
18 時							
週間以外の予定 月に 1 回母と受診							

医療状況 (通院歴など)

- ・あさま療育 C、服薬：抗てんかん薬 朝夕

その他 (必要な情報など)

ジェノグラム・エコマップ



